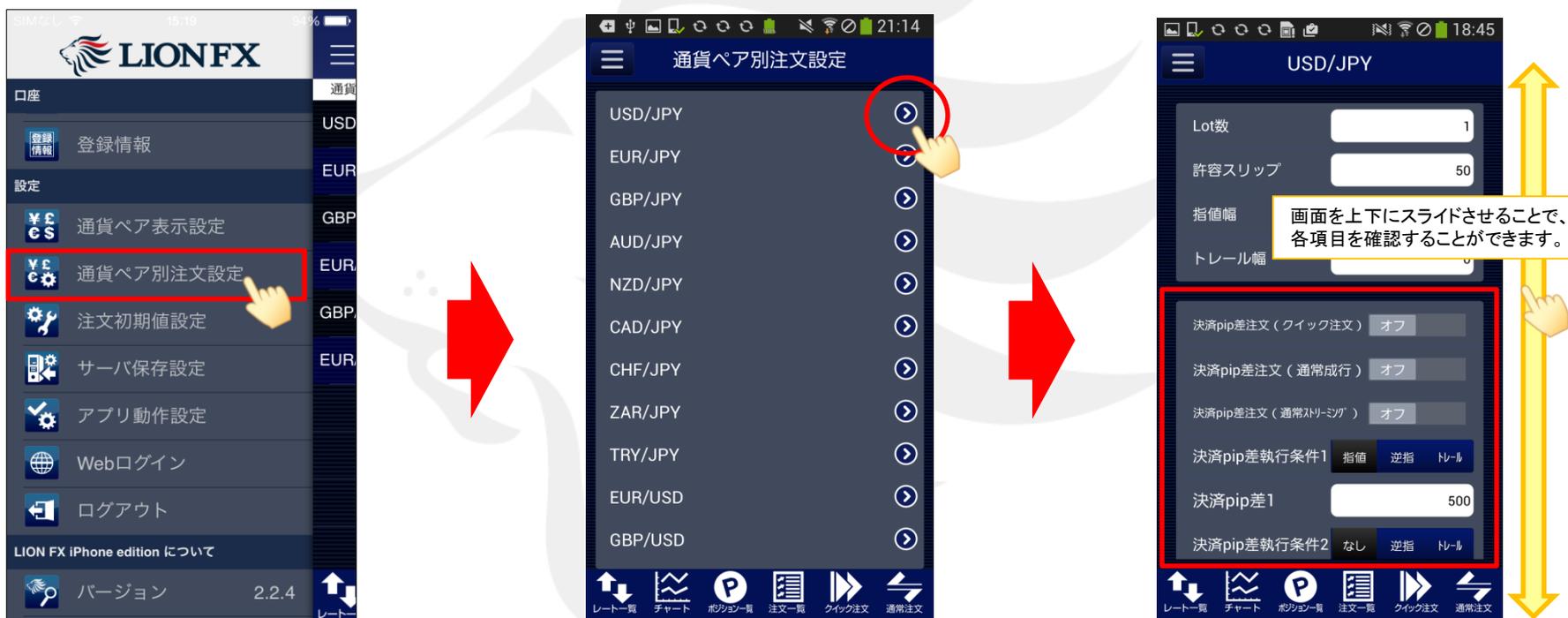


# 決済pip差注文値幅設定

LION FX for Android

決済pip差注文時に適用される指値幅・逆指値幅・トレール幅はあらかじめ、【通貨ペア別注文設定】で設定が必要です。

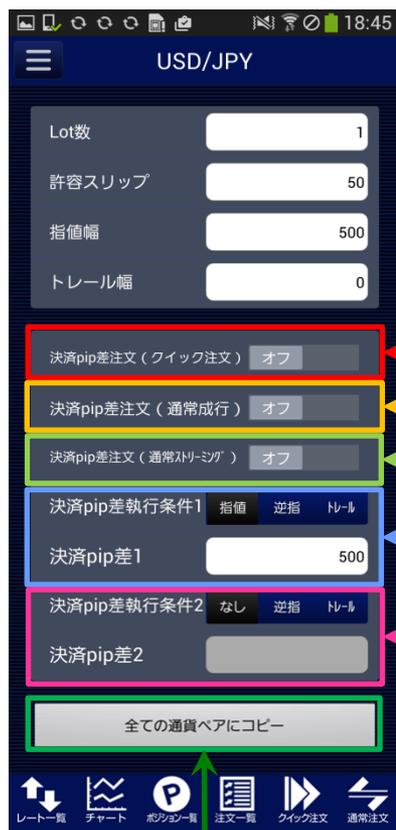


①メニュー【通貨ペア別注文設定】をタップし、画面を開きます。

②通貨ペア名の右側にある  をタップします。

③タップした通貨ペアの詳細設定が表示されます。

※メニュー画面を表示するには、表示している画面の左上にある  をタップしてください。



クイック注文画面での決済pip差注文のオン・オフの設定ができます。

成行注文画面での決済pip差注文のオン・オフの設定ができます。

ストリーミング画面での決済pip差注文のオン・オフの設定ができます。

決済pip差の執行条件を【指値】・【逆指】・【トレール】の3種類から選択できます。

決済pip差執行条件1で選択した執行条件の値幅を設定します。

入力方法はpip入力となります。  
(例)USD/JPY 3銭→30と入力。 1円→1000と入力

決済pip差執行条件2は、【なし(決済pip差執行条件1のみ適用)】または、  
決済pip差執行条件1で【指値】を選択した場合、【逆指】・【トレール】が選択できます。

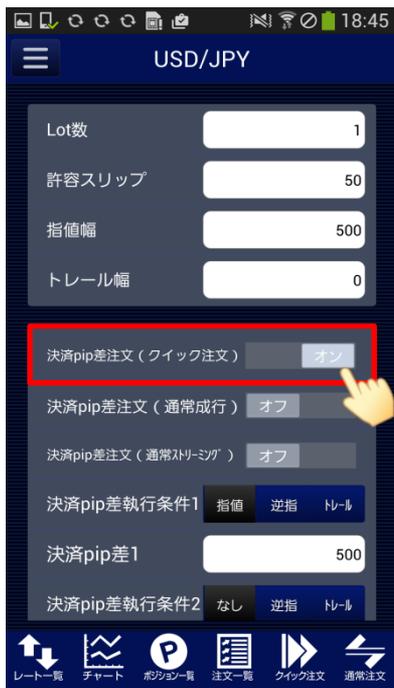
決済pip差執行条件2で選択した執行条件の値幅を設定します。

入力方法はpip入力となります。  
(例)USD/JPY 3銭→30と入力。 1円→1000と入力

#### 【決済pip差】の組み合わせ

- ①【決済pip差執行条件1】指値 / 【決済pip差執行条件2】なし
- ②【決済pip差執行条件1】逆指値 / 【決済pip差執行条件2】なし
- ③【決済pip差執行条件1】トレール / 【決済pip差執行条件2】なし
- ④【決済pip差執行条件1】指値 / 【決済pip差執行条件2】逆指値
- ⑤【決済pip差執行条件1】指値 / 【決済pip差執行条件2】トレール

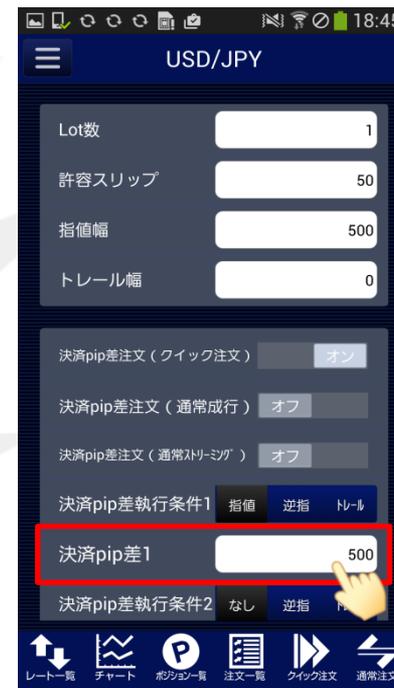
設定内容を全ての通貨ペアにコピー(反映)します。



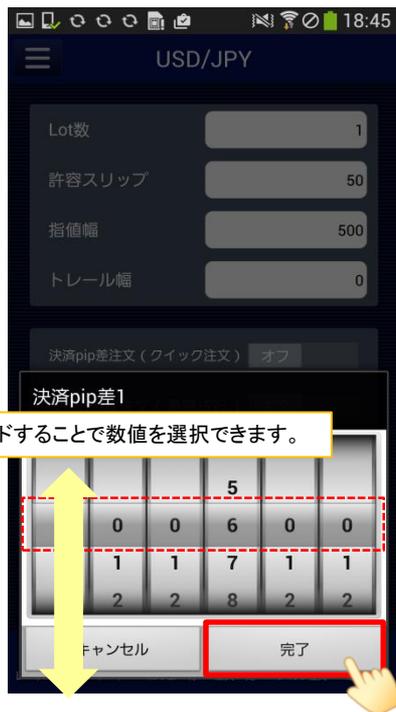
- ④【決済pip差注文】のオン・オフを設定します。  
ここでは、【決済pip差注文(クイック注文)】を  
オンに設定します。



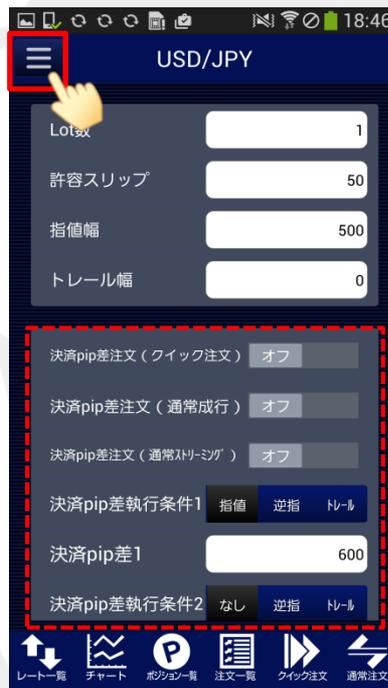
- ⑤【決済pip差執行条件1】を選択します。  
選択したい執行条件をタップします。  
ここでは、【指値】を選択しました。



- ⑥【決済pip差1】で指値幅の値幅を設定します。  
入力欄をタップします。  
※初期設定では500(50銭)となっています。

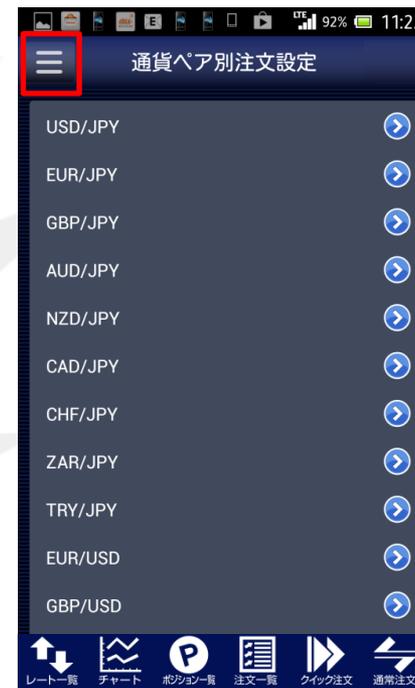


- ⑦ドラムピッカーが表示されます。  
 値幅の数値を設定後、【完了】をタップします。  
 ここでは値幅を「600」に設定しました。



- ⑧  をタップします。

タップすると『メニュー』画面に戻ります。



- ⑨【通貨ペア別注文設定】の  
 通貨ペア選択画面に戻りました。  
 これで設定が完了です。



- ⑩クイック注文画面を開くと、  
決済pip差の設定が反映されています。



設定後、必ず注文画面で正常に反映されているかご確認ください。  
設定が反映されていないときは、再度【通貨ペア別注文設定】画面  
の各通貨ペアの詳細設定画面で設定内容をご確認ください。